

JOCV 千葉 OB 会報

2024年8月
No. 105

夏号

1. 副会長挨拶

自分にできることを

協力隊の派遣が終わり、その後はみなさんどのようにお過ごしでしょうか。

私は松戸市の高校を卒業後、すぐに千葉県小中学校事務職員として、中学校で働き始めました。現在までに小学校1校、中学校6校を経験しています。協力隊の教員現職参加制度は昔からありましたが、私は教員ではないので、いつもうらやましく思っていました。そんな中、2008年4月、千葉県で「自己啓発休業制度」が施行されたのです。その1年前に夜間の日本語教師養成講座を終え、松戸市で日本語ボランティアをしていた私は、すぐに応募を決意し、なんとか派遣が決定しました。千葉県で自己啓発休業取得第1号です！

駒ヶ根での訓練、セネガルでの2年間を終え、2011年3月、東日本大震災のすぐ後に帰国し、日本の寒さとスピードに慣れる間もなく、4月1日から中学校での勤務に復帰しました。その忙しさはすさまじく（学校事務職員は、3月後半から4月が一番忙しいのです）、体が丈夫で本当に良かったと実感しました（笑）。

さて、これから自分には何ができるかな。2年間お休みをいただいたのだから、何かを還元したいと、仕事や日本の生活に慣れたところに思いはじめました。幸いにも中学校に勤務しているということで、多方面で講演会や出前授業のお話をいただきました。松戸市の日本語ボランティアも再開し、そのご縁で松戸市国際交流協会の「松戸市国際文化大使」のお話いただき、2011年9月から現在まで大使を務めています。イベントでセネガル料理の販売や民族衣装体験、また協力隊仲間がオーナーのセネガルカフェでの文化紹介などを企画し行うことで、たくさんの方々にセネガルを知っていただくことができました。あるイベントで青年海外協力隊千葉県OB会の方とお知り合いになり、OB会に声をかけていただきました。グローバルフェスタや協力隊まつりのお手伝いは、とてもいい経験になりました。最近は忙しくなかなか参加できず残念です。

この2年ぐらいは、中学校での「職業人に学ぶ」キ

ャリア教育の講師として、近隣の中学校で協力隊や日本語教師の話をしています。また、松戸の花火大会の時は、海外の方に浴衣の着付けをしたり、国際交流パーティーの司会をしたりと、松戸市のイベントのお手伝いもしています。

仕事をしながらの活動は制限がありますが、2年間の貴重な協力隊での経験を還元することも大事な任務なのかなと思っています。勤務が中学校なので、最近の元気のない(?)中学生に「あいさつ」の大切さを知ってもらおうと、ひとりあいさつ運動も行っています。

（セネガルは、「あいさつ」と「テランガ(おもてなし)」をととても大事にしている国なので…) 帰国してからこのようにいろいろな活動をしていく中で一番うれしいことは、たくさんのお会いがあることです。大したことはできないけれど、これからも出会いを大切に、自分ができる範囲の小さいことをコツコツ続けていきたいと思っています。



事務室前の「セネガルコーナー」



学校での講演会

久保山 三香代
(平成20年4次隊セネガル日本語教師)

目次

1. 副会長挨拶
 2. 報告事項
 - (1) 総会開催（6月2日）
 - 1) 2023年度活動報告
 - ① 協力隊ナビ
 - ② 「協力隊まつり 2023」概要（夏号 No103 に詳細記載）
 - ③ JICA エッセイコンテスト 2023
 - 2) 会計概要報告
 - (2) 2023年度派遣隊員の千葉県庁表敬訪問と壮行会
 3. 「協力隊まつり2023」参加概要
 4. 2024年度派遣隊員の千葉県庁表敬訪問と壮行会
 5. OBOG 寄稿
 6. 年会費納入のお願い
 7. 編集後記
- ～お知らせ～

2. 報告事項

(1) 総会開催（6月2日）

総会を浦安市国際センターにて開催しました。出席者はリアル参加並びにオンライン参加が共に6名ずつ、計12名でした。以下、活動概要です。

月	日(曜)	内 容	備 考
2023 年			
4	15(土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター（相談者 16 名）
	22(土)/23(日)	協力隊まつり 2023	地球ひろば（JICA 市ヶ谷）
5	13（土）	協力隊ナビ（5/13）	浦安市国際センター（相談者 0 名）
	20（土）	2023 年度総会（5/20）	浦安市国際センター リアル&オンライン
	27（土）	JICA 海外協力隊 春募集説明会（対面）	幕張メッセ（サポート）
6	17（土）	協力隊ナビ	浦安市国際センター（相談者 2 名）
7	15（土）	協力隊ナビ（7/15）	浦安市国際センター（相談者 2 名）
	14（金）	2023 年度 1 次隊派遣前千葉県庁表敬訪問&壮行会	千葉県庁&汐菜(しおさい)
	22（土）	定例会（7/22）	浦安市国際センターリアル&オンライン
8	19（土）	協力隊ナビ（8/19）	浦安市国際センター（相談者 1 名）
	—	会報（No.103）発行	浦安市国際センターにて発送作業
9	16（土）	協力隊ナビ	浦安市国際センター（相談者 5 名）
	30（土）	定例会	浦安市国際センター リアル&オンライン

9月～10月	JICA エッセイコンテスト 2023	エッセイ担当者（在宅審査、集合審査）
--------	---------------------	--------------------

10	6 (金)	2023 年度 2 次隊派遣前千葉県庁表 敬訪問&壮行会	ホテルブラザ菜の花
	21 (土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター (相談者 0 名)
11	18 (土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター (相談者 0 名)
	25 (土)	定例会	浦安市国際センター リアル&オンライン
12	16 (土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター (相談者 1 名)
2024 年			
1	-	会報 (No.104) 発行	浦安市国際センターにて発送作業
	17 (水)	2023 年度 3 次隊派遣前千葉県庁表 敬訪問&壮行会	千葉県庁
	20 (土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター (相談者 0 名)
	27 (土)	定例会	浦安市国際センター リアル&オンライン
2	17 (土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター (相談者 4 名)
3	16 (土)	協力隊ナビ	浦安市国際センター (相談者 5 名)
	30 (土)	定例会	浦安市国際センター

その他活動	JOCA 評議員会&社員総会	オンライン出席 (6/17)
	JOCA 関東ブロック会議 (山梨県北 杜市清里)	出席 (11/18&19)
	千葉県 JICA 協力隊を育てる会 理事 会	出席(9/16, 12/16, 1/20, 3/16)
	千葉県 JICA シニアボランティアの会 総会・活動報告会	出席(6/22, 10/15)
	協力隊まつり 2023/24 オンライン 打合せ	出席(4/6, 4/12, 5/9, 6/6, 7/5, 12/13, 1/17, 1/23, 2/7, 2/14, 2/19,3/13,3/28)

1) 2023 年度活動報告

① 協力隊ナビ

2023 年度活動報告表のとおり、JICA 海外協力隊募集が始まったことにより、当会の「協力隊ナビ」は自由参加であり相談者数が多い時・少ない時がありますが、当会は毎月第3土曜日に 14 時から平澤 OB を中心に実施しています。

② 「協力隊まつり 2023」概要 (夏号 No103 に詳細記載)

2023 年度はリアル (市ヶ谷: JICA 地球ひろば、4 月) とオンライン (Zoom) で 4 月 22 日 (土)・23 日 (日) に開催され、地方からはオンライン参加もありました。当会は JICA 地球ひろば (東京・市ヶ谷) にて参加し、「千葉県出身派遣中隊員活動パネル展示」と「応募相談」に加えて、初めて物品販売 (キルギス OB・OG 隊員による“キルギス製品、加工食品/化粧品”の販売)、子供から大人を対象にしたクイズ会を OB・OG が実施しました。

③ JICA エッセイコンテスト 2023

「JICA エッセイコンテスト 2023」(審査委員長 中学生の部 尾木直樹、高校生の部 星野知子) の応募数は

中学生の部 17,439 作品、高校生の部 20,153 作品であり、応募総数は 37,592 作品でした。当会では中学生の部 705 作品の一次審査を依頼され、OB・OG5名が6作品を選出しました。

千葉県からは中学生の部で JICA 東京センター賞を松戸市立第五中学校 3 年生 高野陽麻里さんが受賞しました（タイトル「小さな力を大きな力に」）。また、特別学校賞を学校法人 市川学園 市川中学校が受賞しました。

2) 会計概要報告

令和5年度（自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日）の会計決算は、下記の通りです。

＜収入＞ 会費（55名）、JOCA 共同事業費・交流事業費・協力隊ナビ実施協力費、エッセイコンテスト 2023
収入の部 合計 532,300 円

＜支出＞ 活動（会報発行、エッセイコンテスト 2022、協力隊まつり 2022、隊員壮行会負担分）
活動費 計 442,939 円

事務経費（諸会費・参加費、送金手数料、旅費交通費、通信運搬費、サーバ使用料―） 計 97,993 円
支出の部 合計 540,932 円

＜当期収支＞ -8,632 円 ＜前年度繰越金＞ 995,355 円 ＜次年度繰越金＞ 986,723 円

(2) 2023 年度派遣隊員の千葉県庁表敬訪問と壮行会

- ① 2023 年度 1 次隊（7 月 14 日）：派遣隊員数 14 名 帰国隊員 1 名
- ② 2023 年度 2 次隊（10 月 6 日）：派遣隊員数 14 名
- ③ 2023 年度 3 次隊（2024 年 1 月 17 日）：派遣隊員数 7 名

上記の表敬訪問並びに壮行会に当会からは西村会長及び役員が出席しました。



壮行会後の記念撮影（1次隊）



表敬訪問後の記念撮影（2次隊）



表敬訪問後の記念撮影（3次隊）



壮行会の会食（2次隊）

3. 「協力隊まつり2024」参加概要

今年度も前年同様、リアル（市ヶ谷：JICA 地球ひろば）とオンラインで同時に開催されました。

この「協力隊まつり2024」（4月20日・21日）には多くの協力隊OB・OG会や関連団体が参加し、展示・物販・セミナーなどを通じた世界各国での活動内容や帰国後の活動を紹介しました。また、リモートプログラム（会場でオンラインを使用してインタビュー＆撮影）では学生ボランティアが活躍しました。今回は2団体によるキッチンカーが出店され、J'sカフェのメニューと共に食事の面でも“まつり”を盛り上げたようです。

当会はJICA 地球ひろば（東京・市ヶ谷）にて参加しました。今回は「千葉県出身派遣中隊員活動パネル展示」、「ベレケの村」と「彫金工房 富銀」のポスター展示（自家製）、「応募相談」に加えて、youtube「挑戦者の原点－24人のMy Episode 0－」（JICA 海外協力隊事務局）をモニターで流しました。



＊「ベレケの村（bereke：キルギス語で“恩恵・贈り物”）」経営

五十嵐大介氏（2010年～12年、家畜飼育、キルギス）、五十嵐早矢加氏（2011年～13年、キルギス）

現在、千葉県南房総市在住 URL：[ふれあえる、をつくる。ベレケの村 \(berekenomura.com\)](http://ふれあえる、をつくる。ベレケの村 (berekenomura.com))

＊「彫金工房 富銀」経営

出口 洋氏（1995年～98年、美術教師（ナショナル大学工芸美術学科）、コスタリカ）

現在、千葉県南房総市在住 URL：tomigin.com

4. 2024年度派遣隊員の千葉県庁表敬訪問と壮行会

① 2023年度4次隊（4月15日）：派遣隊員数11名

② 2024年度1次隊（10月6日）：派遣隊員数6名

上記の表敬訪問並びに壮行会に当会からは西村会長及び役員が出席しました。



壮行会後の記念撮影（2023年度4次隊）



壮行会後の記念撮影（2024年度1次隊）

5. OBOG 寄稿

① S59 年 3 次隊 コスタリカ 経済 本家正彦

私の新たな気づきへの旅 - 魅惑と感動のネパール -

私の最初の海外への旅は、ネパールでした。40 年程前に日本人 3 人とポーター 6 人程でキャラバンを組んで、アンナプルナのベースキャンプまでのトレッキングでした。確かにカトマンズの異国情緒溢れる街の佇まい、ポカラにある花が咲き乱れる中庭の美しいホテルから見た真っ青な空に白く輝くマチャプチャレなどヒマラヤの峰々、ベースキャンプから見上げた圧倒されるようなアンナプルナの壁はとても印象的でした。



出所：日本ネパール協会 <http://www.koeki.or.jp/>

しかし、私が「感動」したのは、登山道脇の水が凍るようなところを靴も履かず裸足でテントや食料などを担いで黙々と歩くシェルパ族のポーター達の姿、シェルパ族リーダーの言動、立ち寄った村々でのテント生活と村民との出会い、料理担当の手際よく美味しい料理、深い V 字型の谷底で洗濯をしている女性達、日本でタクシー運転手をして資金を稼ぎながら毎年小さな村でボランティア活動をしている H さんの暮らし振りなどです。更に、カトマンズ市内では見ず知らずのネパール人 T さんは“日本人はよく騙される”からとボランティアで市内の観光案内をしてくれました。T さんは JOCV による帰国研修員で数学教員として日本で研修を受けたとのことでしたが、当時の私は JOCV が何なのか全く知りませんでした。

ところが、翌年に青年海外協力隊（JOCV: Japan Overseas Cooperation Volunteers）59 年 3 次隊の隊員（職種：経済）としてコスタリカに任期を 1 年延長して 3 年間滞在しました。



出所：Costa Rica-Cinco Colones 紙幣の裏面

コスタリカでの配属先は CONICIT (Consejo Nacional para Investigaciones Científicas y Tecnológicas) で内部組織の業務改善指導でしたが、当時は「Japan as No.1」ともてはやされ現地でも日本的経営について関心が非常に高く、コスタリカ大学やカルタゴ工科大学などでセミナー講師や現地企業の経営診断などを依頼されました。その後コロナ禍で海外渡航が出来なくなる頃まで中南米や東アフリカの国々で JICA 専門家など開発コンサルタントとして活動しました。

出所：ふなばし案内人(船ぶらちゃん)

<https://honke3.wordpress.com>

本人 Blog. 一部修正加筆

② S63 年 3 次隊 パラグアイ 野菜 大久保 真

我が青春のボランティア



国連ボランティアの資格にについてご説明致します。原則 25 歳以上ですが、上限は設定されていません。60 歳代も活躍されております。学歴：大学卒以上、又は専

門技術を持ち十分な職務経験がある場合はこの限りではありません。重要視されているのは職務経験で、即戦力としての活動が期待されています。専門的な職務内容の他、危険区域での選挙監視や緊急人道援助等も配属先の要請内容に沿って協力します。応募方法は国連ボランティア独自の履歴書を取り寄せ、戸籍抄本学歴 資格証明等の必要書類も添えて提出します。審査後は候補者名簿に登録され、派遣要請を待ちます。受入国政府や国連機関、NGO からの派遣要請が来ると UNV がコンピューターで検索マッチングして健康診断にパスすると採用が決定されます。私が、平成9年に国連ボランティアに参加した切っ掛けとエピソードをご説明致します。住友林業(株)と東京大学農学部及び林野庁所管の熱帯林再生プロジェクトの運営管理及びインドネシアカリマンタン島での社会林業区の農業研究を行っていた単身出張中の時の事です。日本にいる家族から派遣要請が届いた事を知らされました。インドネシアの産学官同プロジェクトは長期出張の為、二人の息子の成長を見る事が出来ませんでした。しかし、国連ボランティアは配偶者と18歳以下の家族は3人まで同伴が原則認められていました。住居 健康保険も国連指定でありました。私の心は揺れ動きました。ここまで説明致しますと読者の皆様も察しが付くと思います。お金を取るか家族との絆を取るか。インドネシアでは仕事は多岐にわたるがお金になる。TBS系の総理府報道番組の1997年2月9日14時から全国ネット放送のテレビ取材がありました。コマツやトヨタより私の熱いメッセージが届いた為か真打を取ってしまい、住友林業(株)を退職する時は後ろ髪を引っ張られる思いでした。国連ボランティアへの推薦書をJOCVに頂いているので、協力隊の事務局訪問がコースになっておりました。訪問の際、事務局長から苦い



薬を頂戴しました。

国連開発計画エルサルバドル事業所の上司と私の家族の写真

ズバリ言われました。国際協力ゴロになるな……？言われた時に不愉快にも感じ、一緒にするなと思いました。確かに飯のタネにしている名ばかり専門家を沢山見てきました。事務局長から大学のマスターを現地で取る様に勧められました。マスターを海外で修了して道を開く様に……それと子供の教育を常に考える様に……この事務局長は後に、国連職員に転職された事をクロスロードで知りました。任地のエルサルバドル共和国に着任すると、国連開発計画エルサルバドル事務局の皆様が、日本人が珍しいのか大歓迎して下さいました。私の人生、今が最高。大学のマスターコースの夜学に通えました。やりたかった水耕栽培のプロジェクトをコロンビア人の農業専門家と協力して出来ました。JOCVでの野菜栽培普及経験を活かして、福祉施設や貧しい農村に野菜の栽培普及活動が、草の根のレベルで出来ました。

しかし、要請があったら日本の政府筋では行かない危険地帯とされている施設の訪問はもちろん、選挙監視は当たり前前の業務でした。やり甲斐がありました。危険と隣り合わせでした。



国連ボランティアの送迎会の写真

任期を延長して3年間活動し、同時にマスターコースも修了しました。息子二人も、現地の幼稚園に通わせてバイオリンとスイミングが上達しました。私は日本でも家族の為、頑張れる自信がつかしました。日本で働く事を決意しました。今では息子二人も、大学を卒業して社会人となっております。

私は小さな会社ですが、建設と不動産会社の代表として営んでおります。やっと落ち着いたので、30年ぶりに千葉OB会にコンタクトを取る事が出来ました。

協力隊祭りの千葉OB会ブースに、ボランティアとして御協力が出来てとても嬉しかったです。懐かしい関係

者の皆様にお会いするのが嬉しくパラグアイ OB 会にも先日参加しました。



パラグアイ OB 会の写真 北海道小樽築港に集合 30 年ぶりの再会

協力隊祭りでも国際緊急援助隊を知り、医療チームのロジスティックス調整員に登録を致しました。11 月下旬に行われる医療チーム導入研修に参加予定です。

二十歳で参加した協力隊は、私の青春であり私の全てです。若い人達の為によぼよぼだけど、縁の下の柱の一本に私はなりたい。

最後まで御高覧頂きまして、有難う御座いました。

6. 年会費納入のお願い

当会の会報は派遣中隊員と帰国隊員の寄稿、並びに報告事項などで構成され、年に 2 回（夏号、冬号）を発行しています。この会報の発行が当会の支出費目として大きなウェイトを占めています。

つきましては、当会運営の生命線である「年会費（1 口「1,000 円」）」のご協力をお願いします。2 口以上のご支援も大歓迎です。当会運営の生命線は「年会費」ですので、引き続きご協力いただくようお願いします。尚、振込にあたっては「派遣国」と「隊次」を必ずご記入ください。

★振込口座は、以下の 2 行のどちらかにお願いします。

銀行名 : ゆうちょ銀行（当座預金）
店番 : 029（ゆうちょ以外からの振込用）
記号/口座番号 : 00290-1-96562
名義人 : 青年海外協力隊千葉 OB 会

銀行名 : 三菱 UFJ 銀行 船橋駅前店
記号/口座番号 : (普) 4769024
名義人 : 青年海外協力隊千葉 OB 会

7. 編集後記

今回は OBOG が JOCV 隊員に参加する以前のことや協力隊活動をすることによって得られた知識や経験、そして帰国後に現地にて培った知見を日本国内で社会還元していることをお届けできました。久々に編集作業をしながら自身の現地での経験や帰国後のこれまでの時間の流れを感じ取ることができたように思います。既に 5 年余り海外に出ないため、今年こそは何らかの形で出たいと思います。

（昭和 57 年度 4 次隊 ネパール 理数科教師 西村邦雄）

～お知らせ～

ホームページのご紹介

新ホームページはまだまだコンテンツが少ないので、掲載する内容など募集中です。地域での国際交流活動など、なにかネタがあればご連絡ください。

URL は下記ですが、「青年海外協力隊千葉 OB 会」で検索していただくことでもアクセスできますので、是非ともご覧ください。

青年海外協力隊 千葉 OB 会 ホームページ : <https://jocvchiba.org/>

メーリングリスト/Facebook グループのご案内

上記ホームページにて、当会のメーリングリストと Facebook グループへの参加をご案内しております。是非ご参加ください。

連絡先 お問い合わせや会報への寄稿は info001@jocvchiba.org までお願いします。